

# ICT活用工事（浚渫工（港湾））試行要領

## （名古屋港管理組合）

### 第1条 概要

ICT活用工事とは、以下に示すように、①～⑤の各段階に応じたICT施工技術を活用する工事である。

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元数量計算
- ③ ICTを活用した施工
- ④ 3次元出来形測量
- ⑤ 3次元データの納品

また、ICT活用工事の試行にあたっては、愛知県ICT活用工事（浚渫工（港湾））実施要領（以下、県実施要領）を参考とする。

### 第2条 ICT施工技術の具体的内容

ICT施工技術の具体的内容については、県実施要領第3条に準じた内容とする。

### 第3条 各要領等

各要領等については、県実施要領第4条に定められた要領を遵守する。

### 第4条 ICT活用工事の対象工事

ICT活用工事の対象工事については、県実施要領第5条に準じた工事とする。

### 第5条 ICT活用工事の発注方法

ICT活用工事の発注方法については、県実施要領第6条に準じて実施するものとする。

また、ICT活用工事として発注する場合、特記仕様書に発注者指定型、または受注者希望型であることを明示する。

#### 【特記仕様書記載例（発注者指定型）】

本工事は、発注者が指定するICT活用工事（浚渫工（港湾））試行の対象工事とするので、本組合が定める「ICT活用工事（浚渫工（港湾））試行要領」に従って、適切に実施すること。

なお、発注者が指定するICT活用工事の対象工種及び施工数量は以下の通りである。

対象工種及び施工数量：グラブ浚渫工  $V=○○○\text{m}^3$ 、 $A=○○○\text{m}^2$

#### 【特記仕様書記載例（受注者希望型）】

本工事は、受注者が希望するICT活用工事（浚渫工（港湾））試行の対象工事とするので、本組合が定める「ICT活用工事（浚渫工（港湾））試行要領」に従って、適切に実施すること。

受注者は、ICT活用工事試行の実施を希望する場合、試行要領で定める方法により発

注者と協議を行うこと。

## 第6条 発注方法毎におけるICT施工技術の取扱い

ICT技術の取扱いについては、県実施要領第7条に準じて実施するものとする。

ただし、受注者希望型で実施を希望する場合は、ICT活用工事の実施に要する金額を提示し、発注者と協議のうえ実施できるものとするが、必ずしも全てを実施できるものではない。

## 第7条 ICT活用工事実施の推進のための措置

### 1. 工事成績における加点

ICT活用工事を実施した場合、発注方法に関わらず、「創意工夫」において評価するものとする。評価に当っては、創意工夫の評価項目として、下記(1)～(5)の技術について活用した技術毎に評価する。

- (1) 3次元起工測量
- (2) 3次元数量計算
- (3) ICTを活用した施工
- (4) 3次元出来形測量
- (5) 3次元データの納品

### 2. 取組証の発行

前項の規定により工事成績評定において評価した工事のうち、県実施要領第3条で定めた「③ICT活用した施工」を実施した場合、監督職員は、工事目的物の引き渡し後、速やかに受注者に対して「ICT活用工事取組証」(別紙-2)を発行するものとする。

なお、取組証発行は、「土木工事業」、「舗装工事業」、「しゅんせつ工事業」、「とび・土工事業」による発注業種を対象とする。

## 第8条 費用計上

費用計上方法については、県実施要領第9条に準じて実施するものとする。

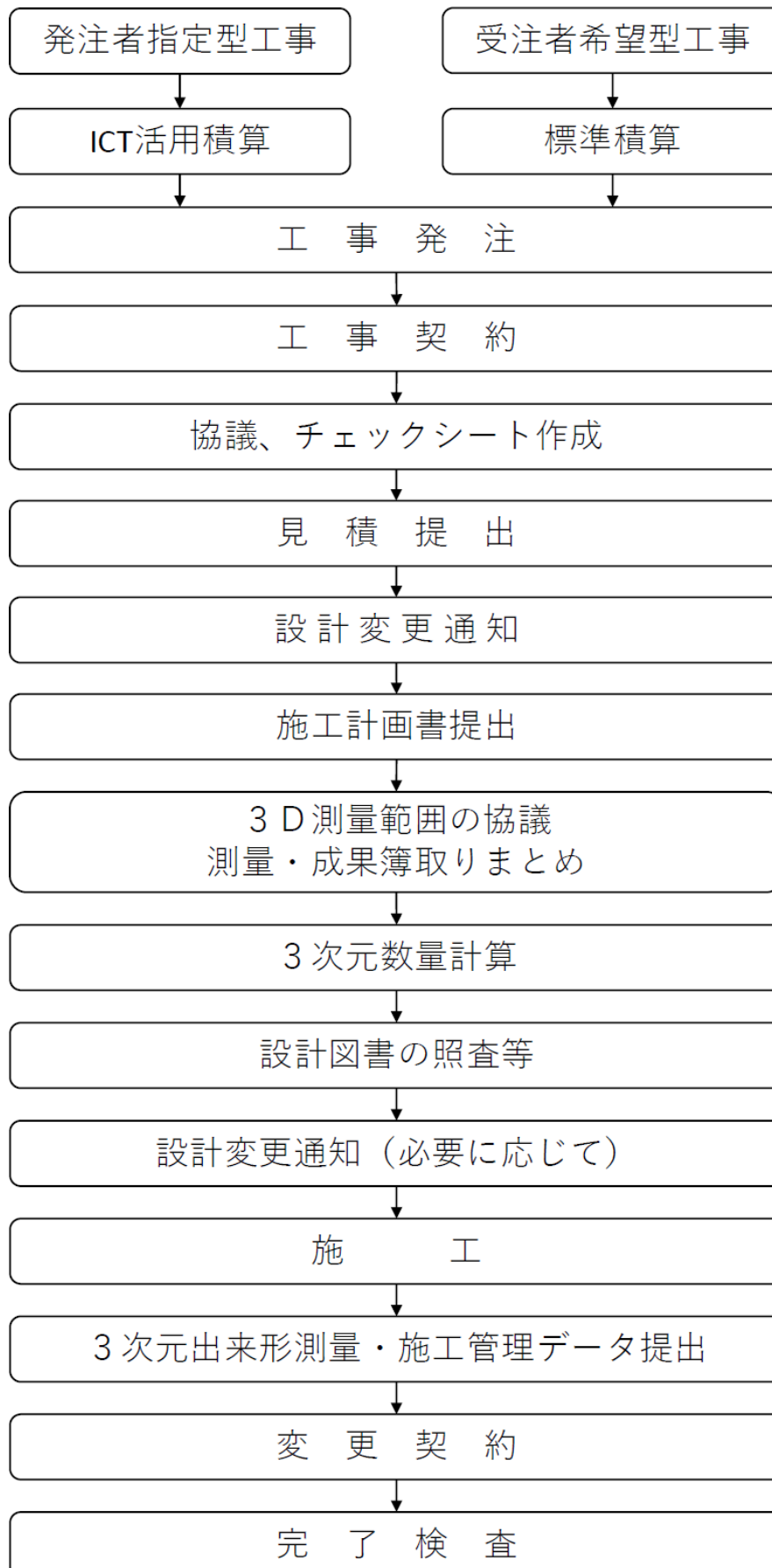
## 第9条 施工管理、監督・検査

施工管理、監督・検査については、県実施要領第10条に準じて実施するものとする。

## 附 則

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

※ 参考 ICT活用工事の発注から工事完成までの手続き及び流れ



## 建設 I C T 活用計画書（浚渫工（港湾））

I C T を活用する 工種・数量	
----------------------	--

建設生産プロセスの段階	作業内容	採用する 技術番号 (参考)	技術番号・技術名
<input type="checkbox"/>	3次元起工測量		1 マルチビーム測深システムによる起工測量
<input type="checkbox"/>	3次元数量計算		
<input type="checkbox"/>	3Dデータによる施工計画、 もしくは設計図書照査		
<input type="checkbox"/>	I C T を活用した施工	<input type="checkbox"/> ポンプ浚渫工	1 3次元位置を用いた施工管理システムを搭載した船舶
		<input type="checkbox"/> グラブ浚渫工	
		<input type="checkbox"/> バックホウ浚渫工	
<input type="checkbox"/>	3次元出来形測量	<input type="checkbox"/> 出来形管理	1 マルチビーム測深システムによる出来形管理
<input type="checkbox"/>	3次元データの納品		

注1) I C T 活用工事の詳細については、I C T 活用工事試行要領によるものとする。

注2) I C T 施工技術を活用する場合は、建設 I C T 活用計画書様式の建設生産プロセスの段階チェック 欄に「」を付ける。

注3) 具体的な工事内容及び施工対象範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。

## I C T 活用工事取組証

名称

代表者名（契約の相手方）様

工 事 名	
工 事 場 所	
契 約 締 結 年 月 日	年 月 日
請 負 代 金 額	金 円
工 期	着手 年 月 日 完了 年 月 日
完 了 年 月 日	年 月 日
本 工 事 の 業 種	土木工事業 ・ 舗装工事業 しゅんせつ工事業 ・ とび・土工工事業

※ 「本工事の業種」欄は、該当する発注業種を選択すること。

名古屋港管理組合 ○○事務所長 印